

令和元年度かいぼり結果概要報告【野川公園：ひょうたん池】

1. かいぼりの概要

【実施日】 令和元年 12月8日

【天候】 晴れ、曇り

【生物調査参加者数】

ボランティア 11人・関係者約 20人

2. 結果概要

【水質】 かいぼり直後はCOD、BOD、T-Pが減少しており、かいぼり後は、COD、T-Pが減少しました。T-Nについてはかいぼり直後の値が一番高く、かいぼり後はかいぼり前よりも若干高くなっています。T-Nが増加した原因は、流入水の水質や池の環境による影響などが考えられます。SSはかいぼり後に大幅に減少し、透視度も大幅に上昇していることから、池水の入替えや泥土の搬出により水中の懸濁物質が減少したと考えられます。

【水生生物】 重要種であるホトケドジョウは、かいぼり後も引き続き確認されています。外来種のタモロコは、かいぼり後に確認されませんでした。緊急対策の対象である外来種のアメリカザリガニが確認され、数も多いことから今後も池の生物を見守っていく必要があります。

3. 調査結果

水質

項目	単位	令和元年度		令和2年度
		かいぼり前	かいぼり直後	かいぼり後
調査日		R1.8.9	R2.3.6	R2.8.6
天候		晴	晴	晴
気温	℃	32.0	11.5	26.5
水温	℃	28.5	10.0	22.0
透視度	cm	26	>50	>50
ORP(酸化還元電位)	mV	+122	+367	+388
pH(水素イオン指数)		7.3	8.0	6.8
COD(化学的酸素要求量)	mg/L	8.7	1.4	1.2
BOD(生物学的酸素消費量)	mg/L	4.6	<0.5	<0.5
T-N(全窒素)	mg/L	3.67	4.59	3.85
T-P(全リン)	mg/L	0.093	0.006	0.01
DO(溶存酸素)	mg/L	8.4	11.5	7.8
SS(浮遊物質)	mg/L	19	<1	1

捕獲した生物と個体数

和名	令和元年			令和2年度		重要種 環境省RL (2020) ^{注1}	東京都RDB (2013) ^{注2} 区部	外来種 ^{注3}
	かいぼり前	かいぼり時	かいぼり後	環境省RL (2020) ^{注1}	東京都RDB (2013) ^{注2} 区部			
	R1.7.23	R1.12.8	R2.7.28					
カワリヌマエビ属	7	80	20					○
アメリカザリガニ	2	55	56					○
モツゴ	3	70	5					
タモロコ	9	14						○
ホトケドジョウ		3	5	EN	CR+EN			

水生昆虫を除く/かいぼり前・かいぼり後はサンプリング調査、かいぼり時は全数捕獲

※1 環境省レッドリスト 2020 ※2 レッドデータブック東京 2013

※3 外来種：人間の手によって、ほかの地域から入ってきた生物のこと

